

令和5年11月7日

宮崎県信用保証協会  
会長 横山 浩文 殿

外部評価委員会

評価委員長 郷 俊介

評価委員 遠山 喜一郎

「令和5年度経営計画の進捗状況」に係る外部評価委員の意見

## 1 総括

本年5月にコロナ感染症が5類感染症となり社会経済活動の正常化が進んでいるが、中小企業者や地域経済に対する信用保証協会の取組みも多様化している状況において、各部門において新たな取組みなども模索され、積極的に対応している状況について評価する

物価高の影響により厳しい状況にある事業者も多いことから、引き続き資金繰りの円滑化や収益力改善への対応をお願いしたい

## 2 重点課題についての評価

### (1) 保証部門

コロナ関連融資の借換えが可能な「伴走支援型特別保証制度」を推進する取組みについて評価する。引き続き返済期間や据置期間が到来する既往債務の借換えについて、積極的な対応をお願いしたい

### (2) 経営支援部門

県と共同事務局を務める宮崎県中小企業支援ネットワークにおいて、ワーキンググループの協働事業で実施している商談会は、信用保証協会の事業者に対する支援が様変わりしていることを感じられる取組みであり、引き続き積極的な対応をお願いしたい

### (3) 期中管理部門

信用保証協会を利用している先のうち、金融機関のプロパー融資が無い（金融機関によるフォローが後回しになる懸念のある）先に優先して訪問によるフォローアップを行っている取組みは新しい発想であり、充分評価できる

### (4) 回収部門

代位弁済後に協会への弁済が困難な事業者も多いと思われ、そのような先への対応も難しい状況となり、協会内の担当部門をまとめて効率化している点について充分評価できる

### (5) その他間接部門

人材確保については苦勞も多いと思われるが、充分対応をお願いしたい

LINEによる広報など新しい手法を取り入れている点について評価したい

デジタル化は社会全体の課題でもあり充分に取り組んでいただきたい

コンプライアンス部門については、内部への研修等も含め対応をお願いしたい